

# iPhoneで 教師の仕事をつくる



はじめに

---

2011年10月に発売されたiPhone4Sは、カメラの性能アップや他の機器へのワイヤレス接続を備え、世界中で多くのユーザーが仕事や学業、プライベートで使っています。

ぼくもiPhoneを教師の仕事に活用できないかと模索してきました。

そんな教室での実践を、「[iPadとiPhone4Sで教師の仕事をつくる](#)」というブログに発信してきました。

この本は、ブログの記事に加筆修正してまとめた3冊目のものです。

関心のある方やiPadをお持ちの方は前作、前々作の方もご覧ください。



## iPadとiPhone4Sで 教師の仕事をつくる

小学校教師canpycanpyがiPadやiPhoneを教室に持ち込んで実践したことを発信します

---

[ブログ : iPadとiPhone4Sで教師の仕事をつくる](#)

2010年8月～

iPadとiPhoneで  
教師の仕事をつくる



canpycanpy 著

[電子書籍『iPadとiPhoneで教師の仕事をつくる』](#)

2011年7月発行

iPad2で授業をつくる  
iOS5に対応した小学校での教育実践



[電子書籍『iPad2で授業をつくる-iOS5に対応した小学校での教育実践』](#)

2011年12月発行



音楽の再生や録音は、昔から教育現場のさまざまな場面で行われてきました。iPhoneを活用することで、これらをもっと手軽に行うことができます。

iPhoneで録音する

iPhoneをCDプレーヤーにつなぐ

iPhoneをワイヤレスアンプにつなぐ

iPhoneと音響機器を無線でつなぐ

iPhoneで録音した音をCDに焼く

iPhoneでカラオケを流す

iPhoneで録音した音をパソコンに送る

## iPhoneで録音する

iPhoneは、ICレコーダーのように録音をすることができます。  
ぼくはこの機能を使って、合唱、伴奏、音読、授業記録、会議などを録音してきました。

録音には、iPhoneにはじめから入っている「ボイスメモ」というアプリを使います。  
シンプルで使いやすいのが特徴です。



### 録音をする

左下の赤丸ボタンをタップすると録音を開始し、同じボタンを録音中に押すと一時停止します。



録音を終えるときは、右下の■ボタンを押します。



### 再生をする

録音をしていない時に右下のボタンを押すと、録音された音声ファイルが表示されます



再生をするときは、左の再生ボタンを押します。



### スピーカーを切り替える

「スピーカー」を押してオンにすると、本体右下のスピーカーから音声が出ます。  
「スピーカー」を押してオフにすると、iPhoneを耳に当てて電話のように聞くことができます。



### 録音する時の注意

iPhoneの下にある二つの穴のうち、左側がマイクで、右側がスピーカーです。

## マイク スピーカー



ですから、左側からは音は出ません。  
録音をする時は左側の穴をふさがないようにしましょう。

## iPhoneをCDプレーヤーにつなぐ

---

iPhoneのスピーカーは教室での授業で使うには音量が小さいです。

でも、iPhoneを他の音響機器につなぐことによって音量を上げることができます。

ここでは、iPhoneとCDプレーヤーをつなぐ方法を紹介します。

### 1 CDプレーヤーに「音声入力」があるか確認する

勤務校のCDプレーヤー（[SONY ZS-R110CP](#)）には、「音声入力」という端子があります。



メーカーや機種によって、「AUX IN」「外部入力」など名称は異なりますが、そういった端子があればiPhoneと接続できると思います。

### 2 ケーブルを用意する

iPhoneのイヤホンジャックに入るサイズのミニプラグケーブルを用意します。



### 3 iPhoneとプレーヤーをつなぐ

ミニプラグケーブルをiPhoneとCDプレーヤーの音声入力端子に差し込んでつなぎます。



### 3 iPhoneとプレーヤーをつなぐ

音声入力を切り替えると、iPhoneの音そのままCDプレーヤーから流れます。



ボイスメモやiTunesに入っている音が、授業のいろいろな場面で活用できます。

## iPhoneをワイヤレスアンプにつなぐ

---

屋外で授業や行事を行うときに、ワイヤレスアンプを使うことがあります。

ワイヤレスアンプというのは、ワイヤレスマイクとアンプとスピーカーが一体になっている機器です。



勤務校のワイヤレスアンプ ([TOA WA-1812CD](#)) とiPhoneをつないでみました。

### 1 実にプラグを準備する

iPhoneのイヤホンジャックに入るミニプラグを準備します。

前項で紹介したのと同じものです。



## 2 変換プラグを準備する

ミニプラグを大きいプラグに変換するプラグを準備します。



ミニプラグと接続します。



## 3 iPhoneをワイヤレスアンプにつなぐ

ワイヤレスアンプの「有線マイク」という端子につなぎます。



ぼくはこれを遠足の屋外レクや運動場での集会などで使いました。

## iPhoneでカラオケを流す

全校朝会でこいのぼりを掲げるための集会を行った時のことです。  
集会で、こいのぼりの歌を全児童で歌いながらこいのぼりをあげることになりました。  
そのときにこいのぼりの曲を流すのがぼくの担当でした。

勤務校にあるこいのぼりのCDはどれもボーカルが入っていました。  
これだと、子供たちの歌声が聞こえにくくなります。

そこで、カラオケアプリのJOY SOUNDでこいのぼりのカラオケ曲を探しました。



[カラオケJOYSOUND](#) 

価格：無料

ジャンル：ミュージック

このアプリ自体は無料ですが、フルコーラスを流すには月ごとの課金が必要です。

検索画面で「こいのぼり」と入れると出てきました。



iPhoneを前項のワイヤレスアンプにつないで流しました。

児童の歌声もよく聞こえました。

## iPhoneと音響機器を無線でつなぐ

---

音楽を使って体育館で授業をするときは、指導する場所と音響機器を行ったり来たりして操作をしないといけません。

CDプレーヤーならリモコンがついているので手元でも操作可能ですが、何曲もの音楽の中から1曲を選んだり、巻き戻しや早送りをするのは難しいです。

音響機器にAirMac Expressという機器を取り付ければ、体育館のどこからでもiPhoneのiTunesに入っている音楽を操作することができます。



### [AirMac Express](#) [Apple公式](#)

AirMac Expressは、パソコンやiPhoneをインターネットや音響機器、プリンタなどとワイヤレスでつなぐ機器です。

#### 1 初期設定をする

パソコンで事前に初期設定をする必要があります。

設定はMacでなら自宅のインターネットケーブルにつなぐとほぼ自動的に行ってくれます。

#### 2 AirMac Expressと音響機器をつなぐ

設定のすんだAirMac Expressをミニステレオジャックで音響機器とつなぎます。



iPhoneのiTunesを起動すると、右下にAirPlayマークが出てきます。



### 3 AirPlayを有効にする

ここをタップすると、AirMac Expressに音を飛ばすか聞いてきます。



AirMac Expressをタップして、AirPlayボタンが青くなれば接続完了です。



運動会や学芸会など、広い場所で指導をするときに重宝します。

## iPhoneで録音した音をCDに焼く

iPhoneのボイスメモで録音した音をCDに焼く方法を紹介します。

### 1 パソコンのiTunesに同期する

パソコンとiPhoneをケーブルでつなぎ、iTunesを立ち上げます。

ここで重要なのが、「ミュージックの同期」で、「ボイスメモを含める」にチェックを入れることです。

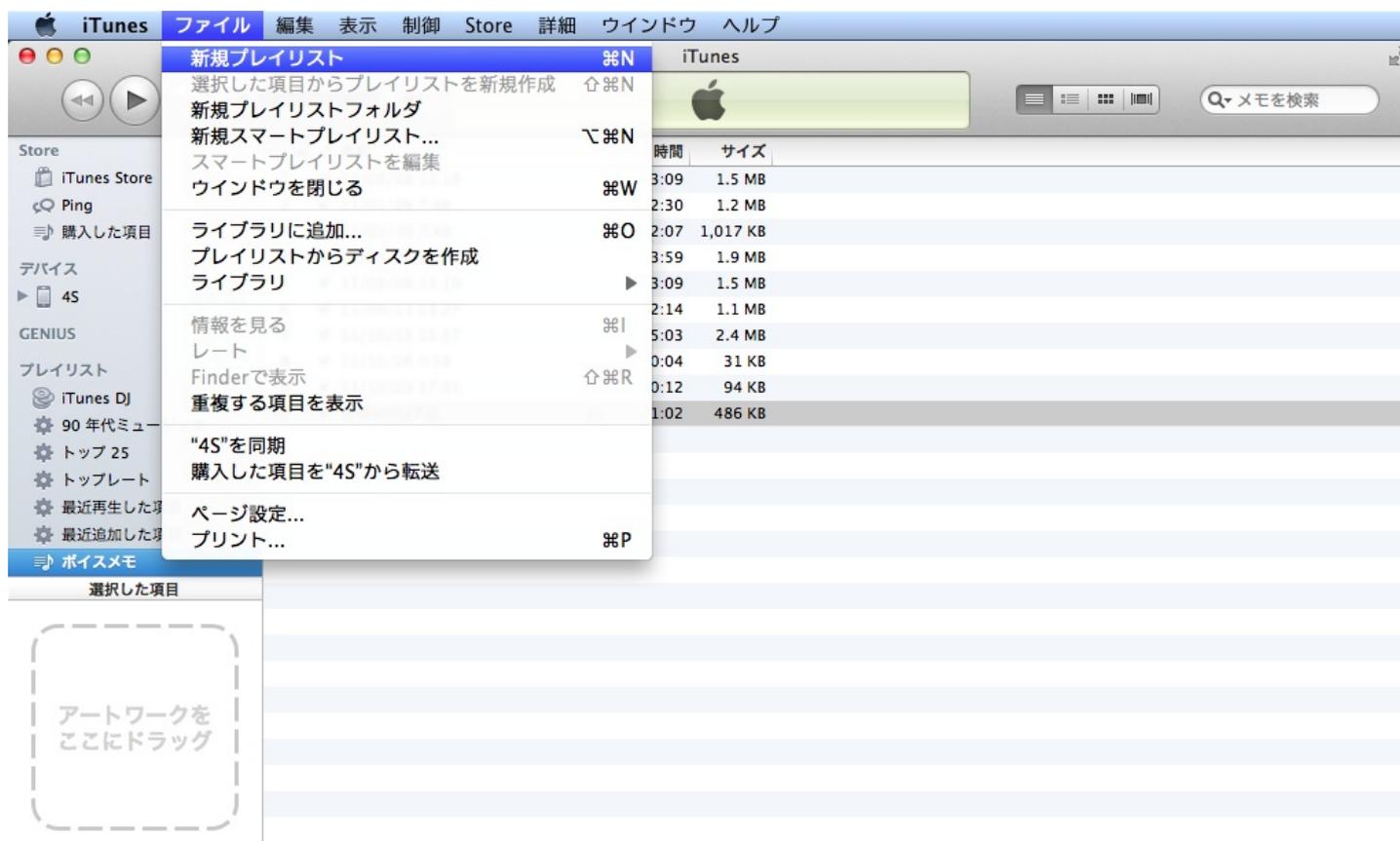


同期をすると、「ボイスメモ」というプレイリストに録音したデータが入ります。

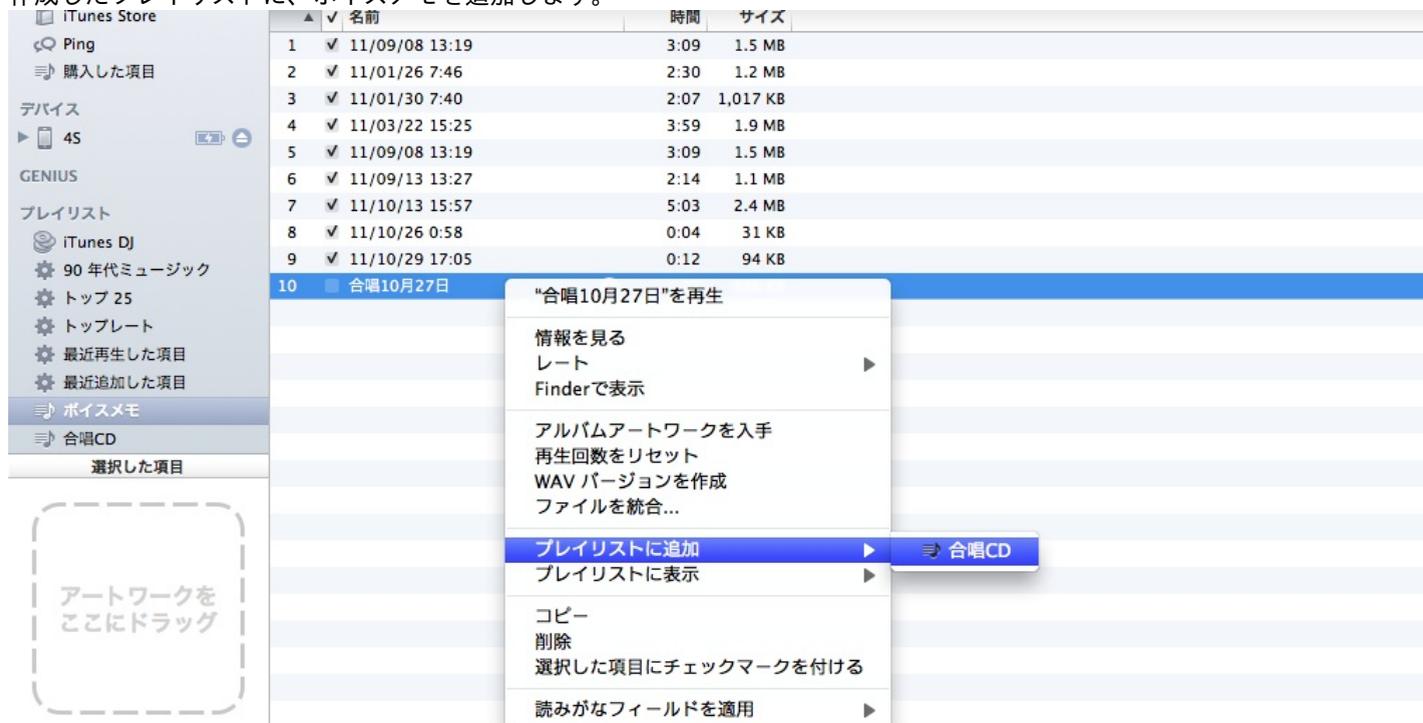
名前	時間	サイズ
1 11/09/08 13:19	3:09	1.5 MB
2 11/01/26 7:46	2:30	1.2 MB
3 11/01/30 7:40	2:07	1,017 KB
4 11/03/22 15:25	3:59	1.9 MB
5 11/09/08 13:19	3:09	1.5 MB
6 11/09/13 13:27	2:14	1.1 MB
7 11/10/13 15:57	5:03	2.4 MB
8 11/10/26 0:58	0:04	31 KB
9 11/10/29 17:05	0:12	94 KB
10 合唱10月27日	1:02	486 KB

### 2 プレイリストを作る

CD用に新規のプレイリストを作成します。



作成したプレイリストに、ボイスメモを追加します。



追加されました。



### 3 CDを入れて焼く

あとは空のCDを入れて、「プレイリストからディスクを作成」でOKです。



iPhoneが機器と直接つなげるのであれば、CDを焼く機会はかなり減ります。

## iPhoneで録音した音をパソコンに送る

---

iPhoneで録音した音源ファイルをWeb上に保存しておくことで、パソコンや他のスマートフォンでも活用することができます。

Web上でさまざまなファイルの保存ができるサービスの代表格がDropboxです。



[Dropbox](#) **App Store**

価格：無料

ジャンル：仕事効率化

Dropboxをインストールした後、アカウントを作成すれば他の機器からWeb上の自分のフォルダを操作することができます。

しかし、iPhoneのボイスメモからはDropboxに送信することができません。

そこで、Dropboxに対応したVoiceRecorderHDという録音アプリを利用します。



[Voice Recorder HD](#) **App Store**

価格：85円

ジャンル：ビジネス

操作はボイスメモ同様、シンプルです。

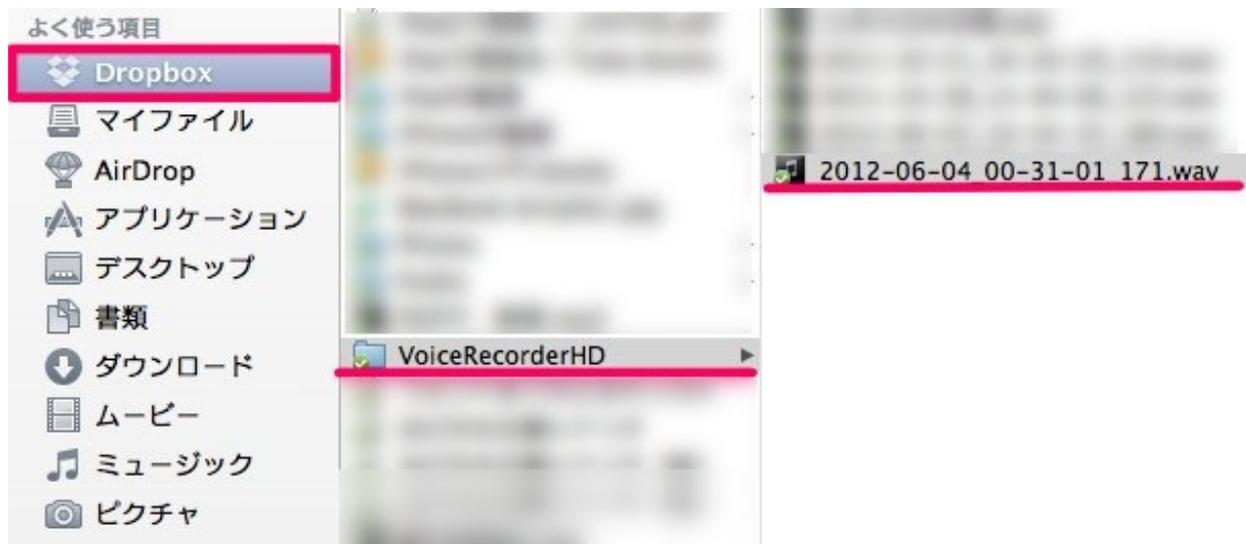


「ボイスメモ」を選んで送信ボタンをタップし、Dropboxをタップします。



これでDropboxのサーバーに保存されました。

パソコンなどでサーバーにログインして音声ファイルを聞いたり加工したりすることができます。



複数のアプリを組み合わせることで、iPhoneの使い勝手はさらに増します。

## iPhoneのカメラを活用する

---



撮影も編集も、iPhoneならこれ一台でできます。

また、AirPlayミラーリングという機能によって、テレビやプリンタと無線でつながることもできます。

ケーブルでiPhone4Sと教室のテレビをつなぐ

名刺を撮影して保存する

運動場の中心でiPhoneのカメラを回す

修学旅行で動画だけを撮る

マイクに気をつけて音楽発表会を録画する

音楽発表会の様子を速攻で編集する

調理実習の手順を録画する

無線でiPhone4Sと教室のテレビをつなぐ

AirPlayで合唱している自分と向き合わせる

iPhoneで撮った写真を印刷する

iPhoneで撮った写真をPDFファイルにする

## ケーブルでiPhone4Sと教室のテレビをつなぐ

---

iPhone4Sの小さな画面を大きなテレビの画面に映して授業で使うには、デジタルAVアダプタという機器が必要です。



### [デジタルAVアダプタ](#) [Apple公式](#)

カメラを使って実物投影機の代わりにもなりますし、撮影した写真や動画を見せることもできます。

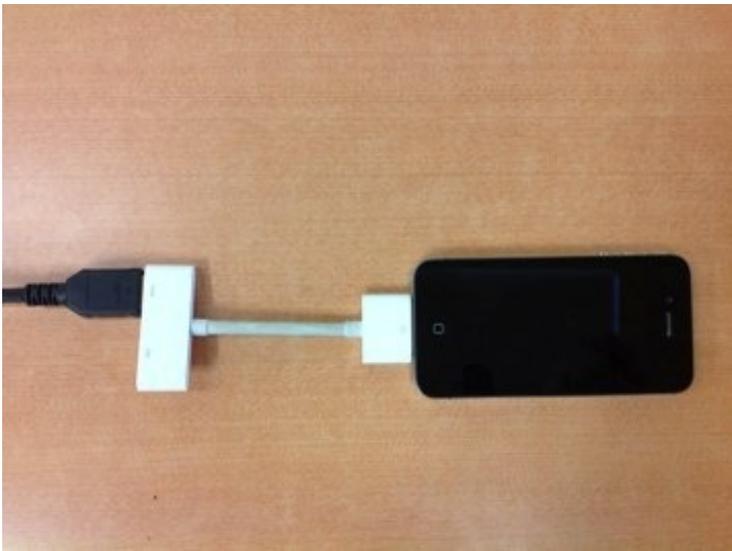
#### 1 アダプタとHDMIケーブルをつなぐ

アダプタのHDMI端子にケーブルを差し込みます。



#### 2 iPhone4Sとテレビをつなぐ

iPhoneのDockコネクタにケーブルを差し込みます。



### 3 テレビのHDMI端子に差し込む

テレビの裏面か側面にHDMI端子がありますので、そこに差し込みます。  
そしてテレビの入力切替を「HDMI」にします。



### 4 10秒待つ

ケーブルを接続して10秒ほどしたら、テレビの画面にiPhone4Sの画面がそのまま映し出されます。



## 名刺を撮影して保存する

---

教育委員会に職員のパソコンの支給を依頼したり、電気設備の業者さんに工事を依頼したり、教材屋さんに未払い分を支払ったりと、年度末は外部の方々とのやりとりが多くありました。

ぼくはいただいた名刺をEvernoteというアプリに保存しています。



[Evernote](#) 

価格：無料

ジャンル：仕事効率化

Evernoteは、メモや写真などさまざまなものを外部のサーバーに保存できるアプリです。

iPhoneの容量をそれほど使用することなく必要な情報を保存できますし、パソコンがあればどこからでも自分のアカウントで保存した情報を出し入れすることができます。



アプリを起動して、+を押すと新規ノートが作成されます。



スナップショットを押してカメラモードに切り替え、横向きにして名刺を撮影します。



ぼくは名刺以外にも、過去数年分の文書ファイルや写真などをEvernoteに保存しています。

有料会員になると、さまざまな形式のファイルの保存もできるようになりますし、1ヶ月の使用上限も増えます。

Evernoteの使い方に関しては多くの書籍やブログがありますのでそちらも参考にしてください。



[Evernote 公式](#)

## 修学旅行で動画だけを撮る

修学旅行に行った時のことです。

行事などではスナップ写真を撮ることが多かったのですが、今回は動画だけを撮っていました。

動画といっても、5秒から30秒くらいの長さのものです。



なぜ動画だけなのかというと、動画を一時停止した画面のスクリーンショットでもiPhoneでは十分な画質だからです。

また、児童の動きのある場面を撮影しようとする、動きをとらえるのが難しくなります。

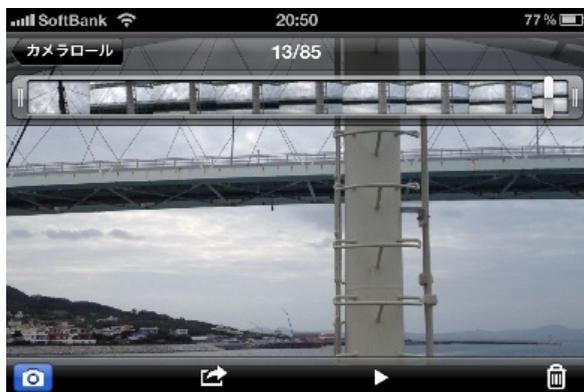
動画だと、いい表情やポーズの場面で一時停止をしてスクリーンショットに収められるので、失敗が少なくなります。

動画から静止画を取り出す手順は次の通りです。

### 1 動画を選びます



### 2 再生して切り出す場面を選び一時停止します。



3 画面をタップして余計な表示を消します。

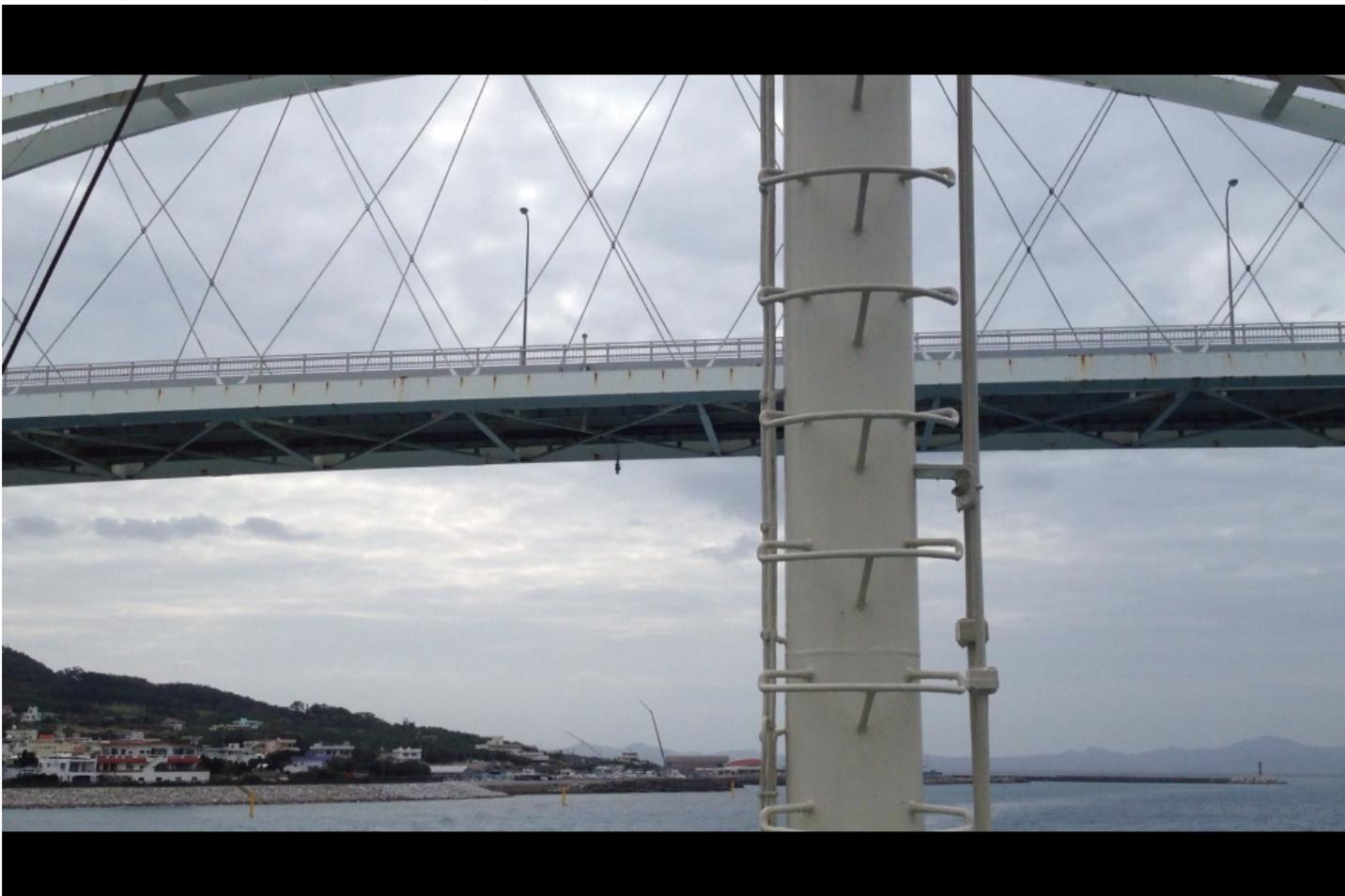


4 ホームボタンとスリープボタンを同時に押すと、シャッター音がしてカメラロールに画面がそのまま保存されます。

これをスクリーンショットと言います。

iPhone4Sの動画は静止画像でも下記くらいの鮮明さです。

WEBや壁新聞、L版サイズの写真なら十分使えます。



このように動画から取り出したスクリーンショットでスナップ写真を作り、広報誌作りなどの活動に利用しました。

## マイクに気をつけて音楽発表会を録画する

---

勤務地区の音楽発表会に出場した時のことです。

各校の合唱をiPhoneで録画して、帰りのバスの中で聞き直してみました。

すると、音がこもって小さくなっている箇所が途中でいくつかありました。

原因を考えてみました。

iPhoneのマイクは、底部スピーカーの反対側にあるメッシュでふさがれた横長の穴です。

通話やボイスメモの際もこのマイクから録音されます。



デジカメを使っていたときのクセで、ぼくは本体全体を包むように持つことがよくあります。

そのときに、マイクを指や手の平でふさいでいたようです。

iPhoneのTVCMでは、下のように入れて撮影をしていました。

マイクにはかすりもしていません。



マイクが気になる場合は、別売りのマイクをイヤホンジャックの部分に差し込むことで、音が拾いやすくなります。

iPhone用のマイクもいろいろと発売されているようです。  
音をしっかりと録りたいときは使用してみてもいいかもしれません。

## 画質を落として話し合い活動を録画する

4Sの標準のカメラアプリで動画を撮ると、画質がきれいな分、メモリがとても大きくなります。

状況に応じて画質を落とし、メモリサイズを小さくするときに、ぼくは「最速ビデオカメラ」というアプリを使っています。



[最速ビデオカメラ](#) 

価格：85円

ジャンル：写真／ビデオ

このアプリは、画質を4段階で変えることができます。  
画質を落とせば、メモリのサイズも小さくて済みます。



話し合い活動の様子を録画した時は、子供の発言だけ記録できればいいと思ったので画質を落として撮影しました。

低画質モードで撮影した12分48秒の動画は15.1MBでした。



それぞれの画質で試しに1分間ずつ録画して、ファイルサイズを見てみました。

高画質→160MB

VGA → 26MB

中画質→ 6MB

低画質→ 1.2MB

iPhone4Sの標準カメラアプリだと、1分で160MBになります。

100分撮ると16GBも使ってしまう計算になります。

iPhoneの残り容量を考えて使用することも時には必要だと思います。

## 音楽発表会の様子を速攻で編集する

---

校内音楽発表会の時のことです。  
発表会は平日の午前の時間に行いました。

iPhoneでその様子をとことろ録画していたぼくは、  
給食の準備時間に動画を編集をして、給食時間に校内のテレビで一斉放送をすることが  
できました。

その手順を紹介します。

### 1 撮影をする

各学年が演奏しているところをiPhoneで撮影します。  
その際、プログラムをまるごとではなく、サビの部分など一部分だけを30秒ほど撮影  
します。

### 2 iMovieを起動する

会場の体育館から教室に戻るまでの数分間の道のりで、歩きながら編集作業をはじめま  
す。  
iMovieを起動し、+をタップして編集画面に進みます。



iMovie App Store

価格：450円

ジャンル：写真／ビデオ



### 3 ビデオファイルを挿入する

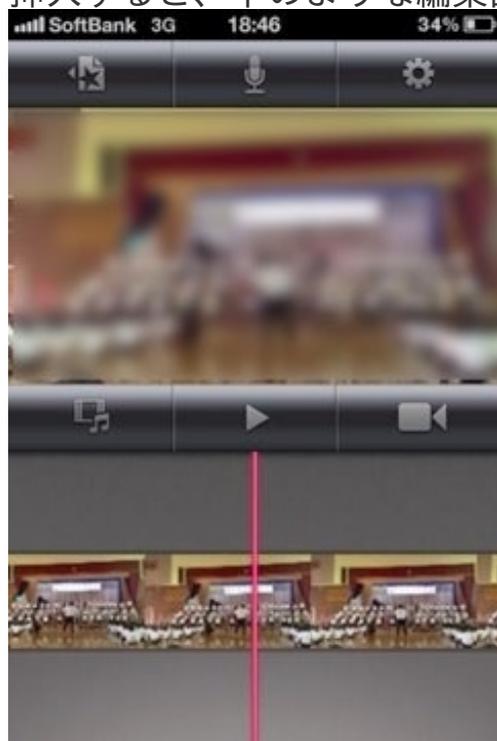
左下をタップすると、ビデオや写真、オーディオの選択画面が出ます。



撮影したビデオを次々とタップしていきます。



挿入すると、下のような編集画面になります。



挿入したビデオには黄色いアンダーラインが入ります。



#### 4 文字を挿入する

編集画面で挿入されたファイルをタップするとクリップの設定画面になります。スタイルを選びます。



中盤を選びます。



学年や曲名を入れます。



## 5 確かめる

すべてのファイルに文字を入れたら、スタート画面に戻って再生をし、一通り確かめます。

長過ぎるクリップがあれば調整します。



## 6 書き出す

ムービーの送信元でカメラロールを指定します。



書き出すサイズを選びます。

iPhone 4 Sだと、1080pも選択できるようになります。

画質に比例して、書き出す時間も長くなります。

ぼくが編集した4分38秒の動画の場合だと、1080pで5分47秒、360pで3

分43秒かかりました。



書き出しが終わりに近づくと、「カメラロールにコピー中」と表示されます。



完成です。



勤務校の校内放送はHDMIに対応していなかったため、コンポジットAVケーブルで放送機器に接続しました。



[コンポジットAVケーブル](#) [Apple公式](#)

アナログ接続なので画質は落ちましたが、歌声はきれいに放送できました。

編集時間は約15分、給食の準備をしている間に書き出しが終わり、無事放映することができました。

## 調理実習の手順を録画する

---

5年生の家庭科で、野菜サラダの調理実習をした時のことです。

事前に自宅でサラダの試作をしてみました。  
その際に、材料を切ったりゆでたりする様子の写真を撮りました。



この写真をiPhoneのiMovieでつないで編集しました。



[iMovie](#) 

価格：450円

ジャンル：写真／ビデオ



経過時間とやることを挿入しました。



実習の開始前にこのムービーを子供達に見せました。



iPhone 1 台で撮影から編集までできるのが助かります。

## 無線でiPhone4Sと教室のテレビをつなぐ

---

iPhone4SにはテレビにiPhoneの画面を無線で映し出すAirPlayという機能があります。

これには、AppleTVという機器が必要になります。

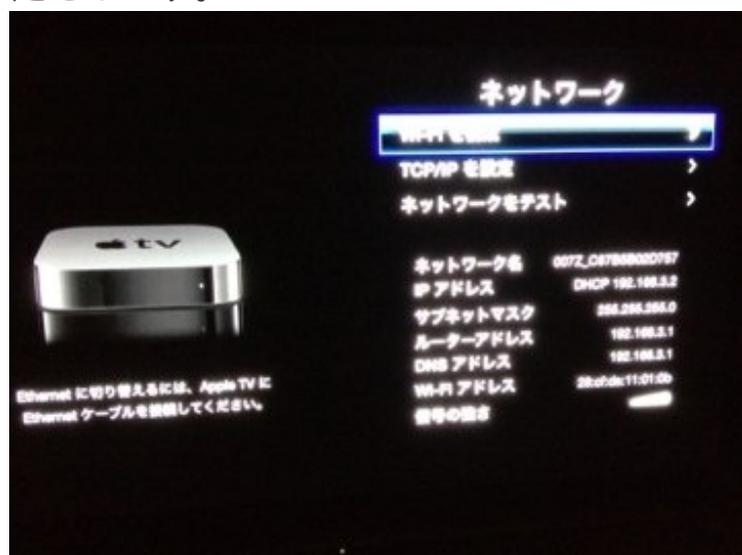


[AppleTV](#) [Apple公式](#)

iPhoneが教室のどこからでも無線でテレビに映せると、授業での活用の幅が広がります。

### 1 AppleTVの設定

AppleTVとテレビをHDMIケーブルで接続してAppleTVの電源を入れ、Wi-Fiなどの設定をします。



無線で接続するには、無線Wi-Fiルーターなどの機器が必要です。ぼくは前章で紹介したAirMac Expressを使用しています。

## 2 AirPlayミラーリングの起動

設定後にiPhone4Sのホームボタンをダブルクリックすると、起動中のアプリが下に表示されます。

これを右にずらします。



すると、AirPlayボタンが出ますので、これをタップします。



AirPlayの画面が出ます。



Apple TVをタップすると、ミラーリングをするかどうか聞いてきます。



オンにして右上の完了をタップすると、iPhone4Sと同じ画面がテレビに表示されます。



ぼくはiPhoneを持って教室を回りながら、製作中の図工の作品を見せたり、算数の時間にノートを見せたりしています。

音楽発表会に向けて合唱の練習をした時は、歌っている様子をiPhoneで録画しながら、同時にAirPlayでテレビに映し出しました。

ぼくは前方からiPhoneで撮影し、児童はテレビの画面で自分が歌っている様子を見ながら歌います。鏡の前で歌うのとほぼ同じ状況です。

しっかりと息を吸っている子や口を開けて歌っている子がよくわかりました。



## iPhoneで撮った写真をPDFファイルにする

---

学校では多くの資料が紙で配布されます。

ぼくは紙の資料をなるべく持たずに、iPhoneで写真に撮って持ち歩いています。

枚数が多いときにはPDFファイルにして、iBooksに入れることもあります。

ここでは、CamScanner+というiPhoneアプリを使って写真をPDFファイルにする方法を紹介します。



[CamScanner+](#) 

価格：450円

ジャンル：仕事効率化



[CamScanner Free](#) 

価格：無料

ジャンル：仕事効率化

CamScanner+のはじめの画面です。

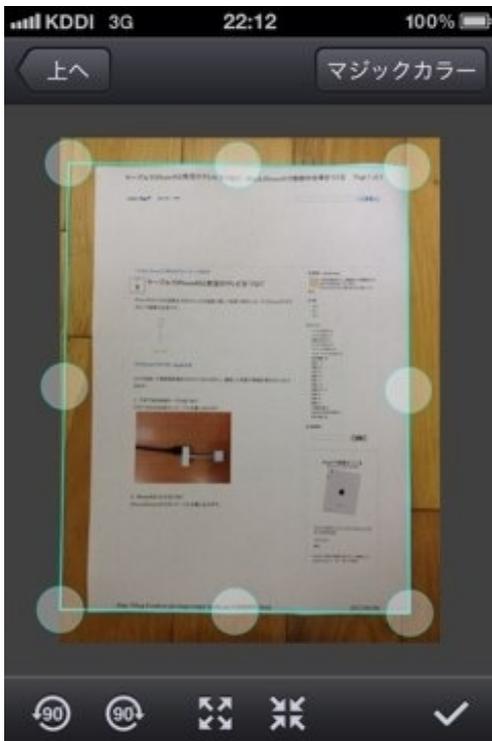
左下のカメラマークをタップします。



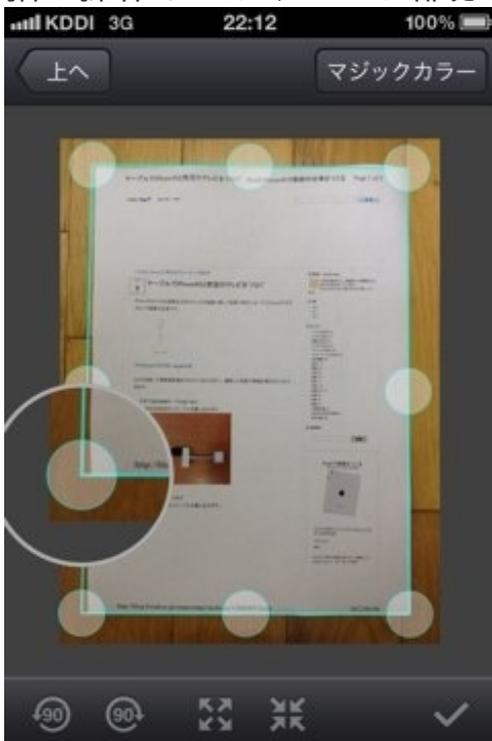
PDFにしたいものを写真に撮ります。



紙の印刷物を撮影しました。  
このアプリは余分なところをトリミングできます。



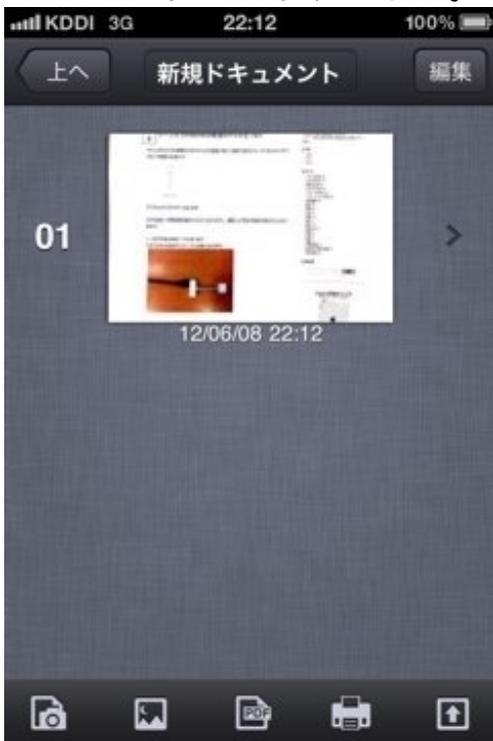
指で操作してトリミング部分を調整し、右下のチェックマークをタップします。



トリミングされた画像ができました。  
明るさなどを調整して再度右下をタップします。



PDFファイルになりました。



iPhoneに保存しておく、いつでも見返すことができるので便利です。

## iPhoneでインターネットを活用する

---



インターネットの発達によって、授業や校務に必要な多くの情報を得ることができるようになりました。

ポケットからiPhoneを取り出すことで、いつでも手軽にインターネットを活用することができます。

RSSリーダーで児童の活躍をチェックする

イースター島をGoogle Earthで見せる

登山の道のりをGPSで確認する

音声翻訳で国際交流をサポートする

「揚げば尊し」の歌詞を音声入力で検索する

## RSSリーダーで児童の活躍をチェックする

学校が休日のときも、スポーツ少年団に所属している子は練習試合や大会で大忙しです。

そんな彼らの学校外での活躍を知るために、RSSリーダーを利用して彼らのチームのブログをチェックしています。

RSSというのは、簡単にいうと「サイトの更新状況を知らせるもの」です。このRSSを読み取るアプリやWEBサービスをRSSリーダーといいます。

他にも、保護者の方々のブログや全国の先生方のブログ、教育やiPhone・iPadに関するニュースサイトなどを登録していて、1日に1回は更新状況をチェックしています。

ぼくが使っているGoogleリーダーの使い方を簡単に紹介します。



Google 検索 

価格：無料

ジャンル：辞書／辞典／その他



右上の↑をタップすると、下のような画面になります。



登録フィールドをタップして、登録したいサイトのURLを貼り付けるか、ブログのタイトル、関心のあるキーワードを入力して検索します。



## 検索とブラウズ

キーワードを入力してフィードを検索するか、フィードページの URL を入力してください。

## フィード パッケージを今すぐお試し

パッケージごと登録すると、フィードを簡単に登録できます。後からフィードを個別にいつでも追加、



「トリプルプレーしたんだって？どんな状況だったの？」

「来週はいよいよ決勝だね。がんばって！」

という感じで、週明けのちょっと疲れ気味の子供達に声をかけることができます。

## イースター島をGoogle Earthで見せる

---

6年生の国語で「イースター島にはなぜ森林がないのか」という説明文の学習をした時のことです。

モアイ像で有名なイースター島は、木材の乱獲と持ち込まれた動物によって森林がなくなったということが書かれていました。

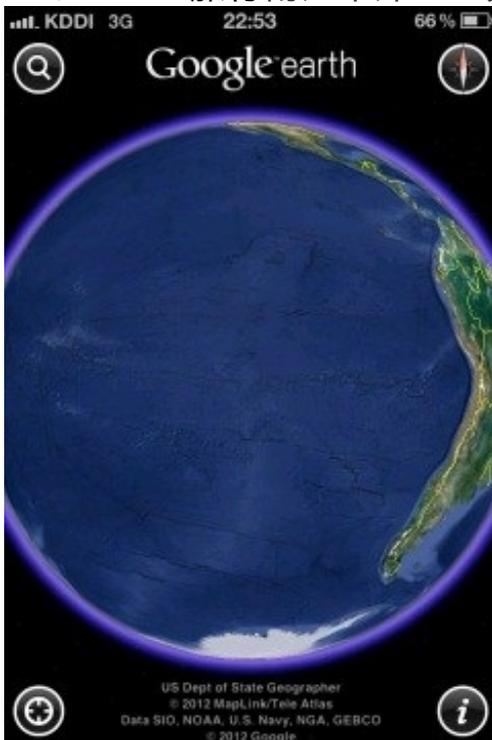
イースター島はどこにあるのか、また、どのくらい森林がないのかを確認するためにiPhoneをテレビにつないでグーグルアースで見せました。



Google Earth 

価格：無料

ジャンル：旅行南太平洋のど真ん中にある絶海の孤島がイースター島です。



広さは小豆島と同じくらいだそうです。

ちなみに、ぼくの現在の勤務地はこの島の10分の1くらいの島です。

同じ離島ということで、子供達も興味深く見ていました。



木がほとんど見当たりません。  
モアイ像を運ぶために多くの木が切り倒されたそうです。



イースター島で唯一の砂浜です。  
うっすらとモアイ像も確認できました。



こちらはアウアキビという場所にある七体のモアイ像です。



世界を見ることができる説明不要のインターネットサービスです。

## 登山の道のりをGPSで確認する

---

学年行事で登山をすることになったので、事前の道のりを確認しに行った時のことです。

歩きながら現在地と頂上までの距離を確認するために、ジョギング用のアプリを使いました。



[ジョグボーイ](#) 

価格：250円

ジャンル：ヘルスケア／フィットネス



[ジョグボーイ フリー](#) 

価格：無料

ジャンル：ヘルスケア／フィットネス



このアプリは、歩いた道筋と距離をGPSで記録してくれます。  
ぐじゃぐじゃしているところは、道に迷ったり草刈りをしたりしたためです。



校外学習で地域を歩く時に、GPSを利用したアプリは有効に使えると思います。

## 音声翻訳で国際交流をサポートする

アルゼンチンの方々と国際交流の授業をした時のことです。  
アルゼンチンについての紹介を聞いたり、一緒に歌やゲームを楽しむ会を持ちました。

アルゼンチンの公用語はスペイン語です。ぼくにはお手上げです。  
iPhoneを手に、いざというときにはすぐに検索できるように準備していました。  
幸い日本語がある程度できたので、彼らの話はよく聞くことができました。

ゲームをすることになりました。  
ぼくが思いついたのは「じゃんけん」でした。  
多くの国で、日本のじゃんけんと同様の遊びがあります。  
[参考サイト：子どもクラブ 世界のじゃんけん](#)

スペイン語での「石」「はさみ」「紙」の言い方を尋ねました。  
文字として確認するために、ぼくはiPhoneのGoogle翻訳を使いました。



Google 翻訳 [App Store](#)

価格：無料

ジャンル：辞書／辞典／その他

このアプリは、Google音声検索と同様にマイクボタンを押して日本語で話すと、選択した言語に翻訳します。



Tijeras



iPhoneを横にすると、文字が大きく表示されます。



# Tijeras

音声ボタンを押すと、発音してくれます。

アルゼンチン出身の彼が教えてくれたじゃんけんは、  
「Piedra(グー)、Papel(パー)、Tijeras(チョキ)。トン、トン、ポン！」  
という感じのリズムでした。

iPhoneは国際交流するときの心強い味方にもなります。

## 「仰げば尊し」の歌詞を音声入力で検索する



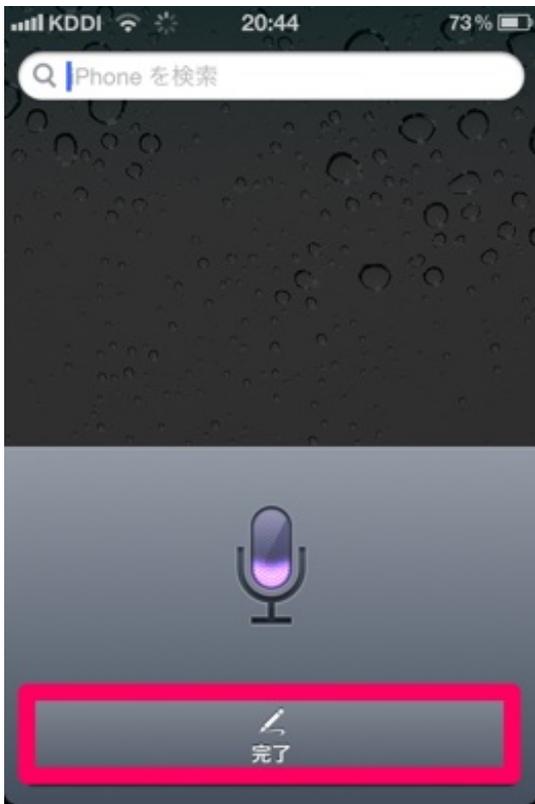
卒業式のリハーサルを行った時のことです。  
式の最後を締めくくるのは、「仰げば尊し」の全員合唱です。

ぼくはこの歌の歌詞を覚えていませんでした。  
体育館の端っこに行ってiPhone4Sを取り出し、歌詞を検索しました。

はじめに、ホームボタンを押してスポットライト検索の画面にします。  
ホーム画面を右にスライドしても同じような画面になります。



マイクボタンをタップして「あおげばとうし かし」とiPhoneに向かってつぶやきます。  
そして完了ボタンをタップ。



「仰げば尊し歌詞」と変換されます。  
「Webを検索」を押して結果を表示させます。



読みがなや歌の歴史もついていて、勉強になりました。



検索キーワードが長ければ長いほど、音声入力の方がフリック入力よりも速いのではないかと思いました。

ちなみに、記号を入力する場合は次のように話すと変換できます。

- 、 → 「てん」 「とうてん」
- 。 → 「まる」 「くてん」
- ? → 「はてなまーく」 「ぎもんふ」
- ! → 「びっくりまーく」 「かんたんふ」
- : → 「ころん」
- : → 「せみころん」
- @ → 「あっとまーく」
- ¥ → 「えんまーく」
- ・ → 「なかぐろ」
- ... → 「てんてんてん」
  
- ( ) → 「かっこ」 「かっことじる」
- 「 」 → 「かぎかっこ」 「かぎかっことじる」
- { } → 「ちゅうかっこ」 「ちゅうかっことじる」
  
- → 「しろまる」
- → 「くろまる」
- ◎ → 「にじゅうまる」
- △ → 「しろさんかく」
- ▲ → 「くろさんかく」

▽→「ギャクさんかく」

▼→「ギャクくろさんかく」

□→「しかく」

■→「くろしかく」

改行するとき→「かいぎょう」

## iPhoneのアプリを活用する

---



iPhoneには20万以上のアプリがあり、現在もなお増え続けています。  
そうしたアプリの中には教育に関するものや教師の仕事で利用できるものも多くあります。

始業式までにすることをメモする

一年前の登山の日程をメモから引っ張り出す

学芸会で必要なものをリマインダーにメモる

各国の時刻を一斉に表示する

歌声の大きさを測定する

スピーチの順番を抽選アプリで決める

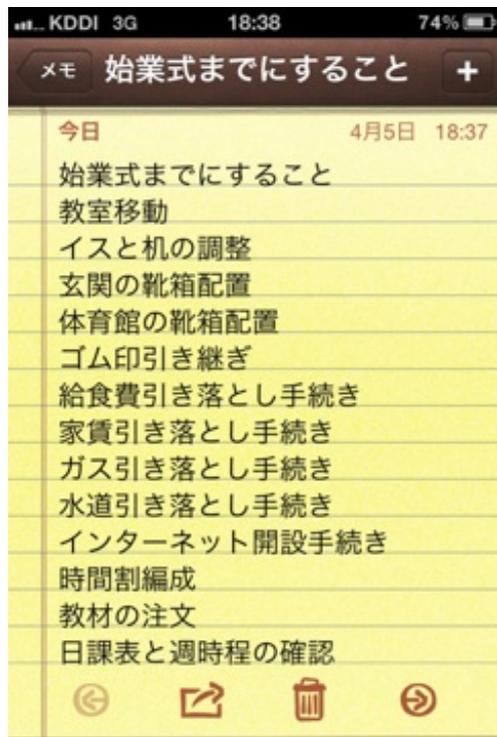
全校合唱の歌詞をスクリーンに映す

劇の効果音をつくる

## 始業式までにすることをメモする

---

異動して新しい学校に来たら、始業式までにする仕事も多少変わってきます。周りの学級担任の動きをみながら、やったことをiPhoneにメモしていきました。



一行目がそのままタイトルになるので、後で見返しやすいように一行目を書くのがポイントだと思います。

## 一年前の登山の日程をメモから引っ張り出す

---

親子登山という行事があった時のことです。

この行事に前年度も関わっていたぼくは、登山の途中地点でのタイムをiPhoneのメモに記録していました。



登山について、保護者と打ち合わせをしました。

「canpy先生、去年はどのくらいの時間がかかりました？」

と質問されたので、iPhoneで当時のメモを引っ張りながら話すことができました。

記録をまめにとっておくことの大切さを実感しました。

## 学芸会で必要な物をリマインダーにメモる

---

学芸会で劇をした時のことです。

劇には、いろいろな物の準備が必要です。

衣装や小道具、大道具、バック幕や効果音など、次から次へと出てきます。

ぼくはそれらをiPhoneのリマインダーに記録していききました。

そして準備が整ったらチェックを入れていききました。



ToDoリストやメモ書きは紙でもできるのですが、紙は散逸してしまうことが時々あります。

iPhoneだとそれが無いので助かりました。

衣装や小道具のデザインに困ったら、iPhoneで画像検索をして資料を探せる点もよかったです。

## 各国の時刻をiPhoneで一斉に表示する

6年生の外国語活動の授業で、世界の国々には時差があることを学習した時のことです。

日本、北京、シドニー、モスクワ、ニューヨークなど8つの国々の人々へ今の時間をたずねる会話文を聞いて、その時刻を書き込んだり地図上からその地域を選んだりする活動を行いました。

英語ノートの指導を一通り終わった後、iPhoneの標準アプリにある世界時計をテレビに映し出しました。



デフォルトは東京だけですので、地名を入れて検索し追加していきます。



アメリカの場合は、「アメリカ」ではなく「米国」で検索するといくつかの地名が出てきます。



この授業の間は、世界時計を映しっぱなしにしていました。

「秒針の動きが同じだ」

「黒いところは夜なのかな？」

と気づく子がいました。

時刻の違う時計を同時にいくつも表示できるのもiPhoneならではの技だと思います。

## 歌声の大きさを測定する

---

市町村の音楽発表会にぼくの学年が学校代表として出場することになり、学年合同で合唱の練習をした時のことです。

歌の中で声を大きくする部分があります。  
その音量をもう少し上げたいと思いました。

それで使ったのがdBVolumeというアプリです。



[dB Volume](#) 

価格：無料

ジャンル：ミュージック



はじめは何も言わずにアプリを起動させて、歌わせます。

「今の声は87デシベルです。」

次はiPhoneを掲げて画面を見せながら歌わせます。

声の大きさがバーが上下するので、モチベーションが上がります。

「93デシベルでした。やればできるじゃないですか。」

あとはiPhoneをポケットに入れます。

これ以上やると、大きな声を出すことだけに気が入って、肝心の歌声が乱れる恐れがあります。

音量を保ちつつ、きれいな歌声が出るように練習していきました。

## スピーチの順番を抽選アプリで決める

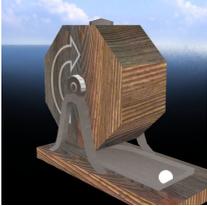
---

6年生の国語の時間に、スピーチをする学習をしたときの事です。

保護者やスポーツの指導者などへの「感謝の思い」を書かせて、教室でスピーチをさせました。

スピーチの順番を決めるために抽選を行いました。

今回はiPhoneのアプリをテレビに映しながら行いました。



[ガラガラ抽選器](#) 

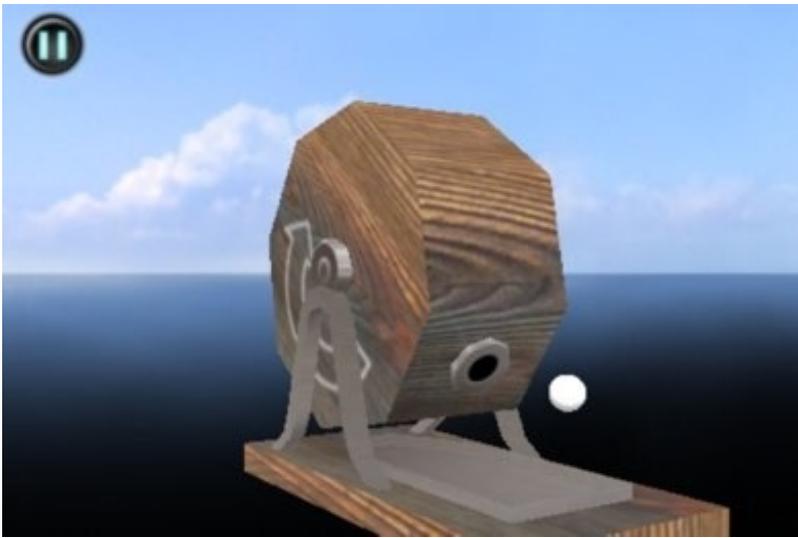
価格：無料

ジャンル：エンターテインメント

矢印にそってガラガラを回すと・・・



ガラガラと音を立てながら回転して玉が飛び出します。



玉に名前や色、音をつけておくと表示されます。



設定画面はこうなっています。

壁紙やフォント、フォントサイズを調整することができます。

戻る 設定

壁紙の選択...

フォント HiraKakuProN-W6

フォントサイズ 100

あらき

いばた

たかはし

やまさき

もりの

ひらた

各賞の設定画面です。

賞の名称を児童の名前に替えます。

戻る 賞の編集

賞の名称 **名前を入れる** あらき

個数 **玉は1個ずつ** 1

再利用 **再利用はしない**  オフ

画像 **玉の色を選べます** white.png

効果音 **2種類の効果音を選べます** bellx8.caf

この賞を削除する

---

---

---

---

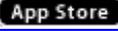
全員の玉が出て抽選が終わると以下のように表示されます。



玉の色や音など、ちょっとした演出があるのがおもしろいです。

抽選アプリは他にもいろいろなタイプのものがあります。



[三角くじエアー抽選器](#) 

価格：無料

ジャンル：エンターテインメント

丸いケースの中を乱れ飛ぶ三角くじをキャッチして開きます。

開発元がガラガラ抽選器と同じなので、設定の仕方も同じになっています。



[抽選](#) 

価格：無料

ジャンル：エンターテインメント

1台から6台までのルーレットを選び、矢を放って番号を表示します。  
宝くじの抽選会でよく見るあれです。



[抽選くん](#) 

価格：無料

ジャンル：仕事効率化

順番を手っ取り早く決めるならこのアプリです。  
演出なしでパッパとランダムに数字が出てきます。  
履歴も残ります。



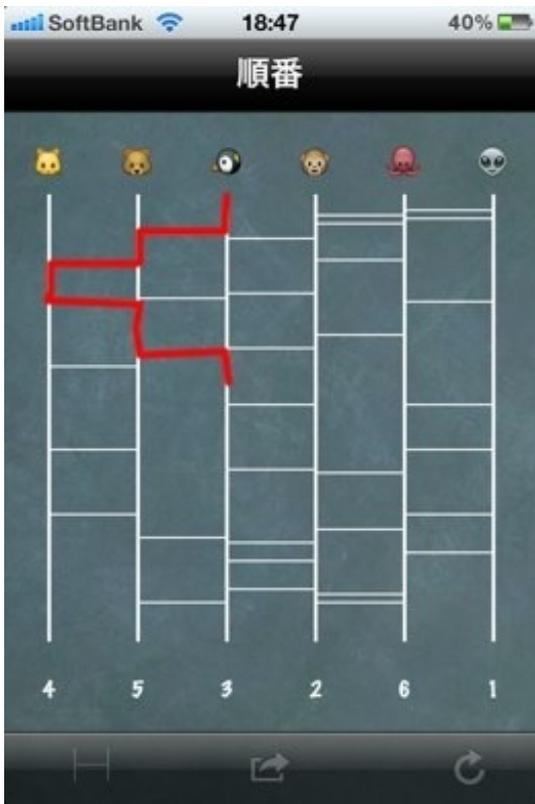
[あみだくじ Amidakuji](#) 

価格：無料

ジャンル：エンターテインメント

あみだくじです。

体育で球技の対戦チームを決めるときに使ったことがあります。



こうした小技アプリが多いのもiPhoneの魅力の一つですね。

## 全校合唱の歌詞をスクリーンに映す

---

全校児童による合唱をおこなった時のことです。  
歌詞を表示することになったのですが、紙に書いて見せるとなるとかなり大きなサイズが必要になります。

この時はプロジェクタとiPhoneを使い、Keynoteで表示してみました。



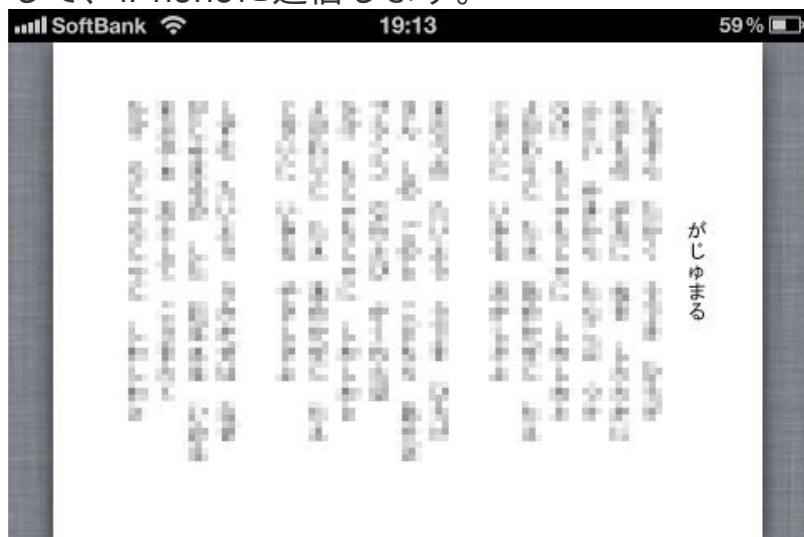
Keynote **App Store**

価格：850円

ジャンル：仕事効率化

「がじゅまる」という歌で、歌詞が3番まであります。

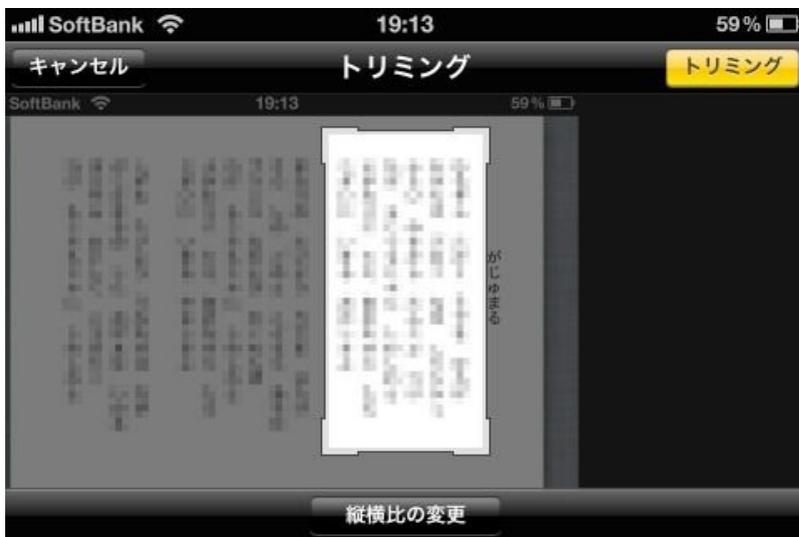
音楽の担当者からWordファイルでもらった縦書きのデータをPDFファイルに変換して、iPhoneに送信します。



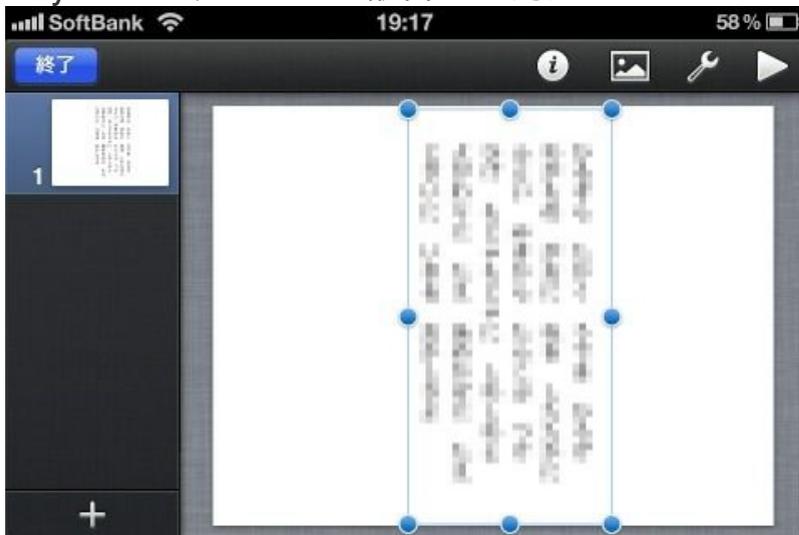
PDFファイルをiBooksで開いてスクリーンショットを撮り、1番ごとにトリミングします。

iOS5ではトリミングが標準機能になっています。

スクリーンショットは、ホームボタンと電源ボタンを同時に押すことで、カメラロールに保存されます。



Keynoteを開いて、1番ごとにスライドに貼り付けます。  
Keynoteは今のところ縦書きに対応していません。



曲の間のがじゅまるの画像を入れます。



アニメーションモードでスライドが変わるときのトランジションを入れます。



スローな曲なのでディゾブルにしてみました。  
前のスライドのフェードアウトと同時に、次のスライドがフェードインしてきます。



## 劇の効果音をつくる

---

学芸会の準備をしていた時のことです。

効果音が必要になりました。

「喜びの音」と「ショックの音」です。

以前なら効果音集のCDを使ったりフリーの音楽素材を探したりしたのですが、この時はiPhoneのガレージバンドを使って自分で作ってみました。



[GarageBand](#) 

価格：450円

ジャンル：ミュージック

はじめに音源を選びます。



楽器を選びます。鍵盤楽器には音色の違う6種類があります。



電子ピアノにしてみました。



設定をタップしてセクションの長さを設定します。



短い効果音なので2小節で十分です。



試行錯誤しながら作曲します。



曲ができたなら録音ボタンを押して録音します。



録音完了。曲名をつけて保存します。



iTunesかメールでPCに送ってCDやMDに録音します。



こんな感じになりました。

[劇の効果音-You Tube](#)

車の中で人を待っている数分間にできるのがiPhoneのいいところです。

おわりに

---

人事異動が決まり、春休みに教室の片付けを行いました。  
ゴミを捨てに行こうとしたら、日が暮れて辺りが真っ暗になっていました。  
iPhoneのアプリで足下を照らしながら歩きました。



懐中電灯。 [App Store](#)

価格：無料

ジャンル：ユーティリティ

光りっぱなしだけでなく、点滅させることもできます。



タッチしているときだけ光り、指を離すと消えるということもできます。  
モールス信号が送りやすいそうです。



前任校で、最後の最後までiPhoneのお世話になりました。

新しい勤務地は離島の小規模校になりました。

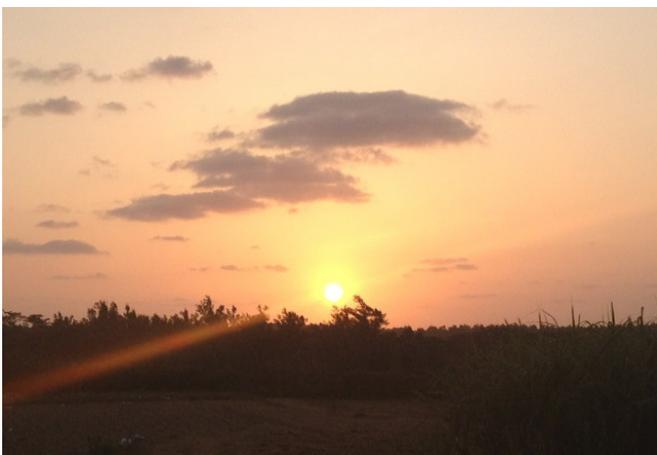
この島は夜になると街灯も少なく、車の通りも非常に少なくて真っ暗になります。

引っ越しの初日、iPhoneを取り出して夜道を照らしながら歩きました。

空を見上げると、満天の星がかがやいていました。

iPhoneをロックして、しばらく夜空を眺めていました。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。



2012年4月2日 新しい勤務地で見た最初の朝日 (iPhone4S)

iPhoneで教師の仕事をつくる

2012年6月9日 Ver. 1.0.0

著者 : canpycanpy

ブログ:iPad2とiPhone4Sで教師の仕事をつくる

<http://blog.livedoor.jp/canpycanpy/>

Twitter:@canpycanpy

<http://twitter.com/#!/canpycanpy>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ